

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-----------|------------------------|--------|------------------|-----------|--------------|
| 団体名 | 富山県 | | | 代表者名 | 新田 八朗 |
| 担当者部署(属性) | 情シス担当 | 担当者部署名 | デジタル化推進室 情報システム課 | 連絡先電話番号 | 076-444-8934 |
| 担当者役職 | 主任 | 担当者氏名 | 西境 亮祐 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 930-8501 富山県富山市新総曲輪1-7 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

| | | | |
|-------|--|-----------|--|
| 団体名 | | 連絡先部署 | |
| 担当者氏名 | | 連絡先電話番号 | |
| | | 連絡先E-mail | |

1-3. 支援を求める内容

| | | | |
|----------|---|-----|-------------------------|
| 支援方法 | 職員向け啓発・研修（複数団体） | 事業名 | 特定個人情報等の取扱いに関する安全管理措置研修 |
| 概要 | 地方公共団体に求められる特定個人情報等の適正な取扱いについて研修を実施するほか、個人番号利用事務について見直しの考え方や留意点等その手法を学ぶもの | | |
| 支援を求める分野 | 自治体セキュリティ マイナンバー | | |

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| 2-1. 対応日・時間 | 期日・支援内容の変更あり | 受付番号 | 変更後の派遣日 | 変更後に実施した支援内容 | 実地/オンライン |
|-------------|---------------|-----------------|------------|--------------|----------|
| | 無 | | | | |
| | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | 令和6年9月26日 | 支援・助言(実地) | 10時00分 | 17時00分 | 90 |
| | | | | 活動時間（分） | 330 |
| 2-2. 派遣場所 | 会場名 | 富山県民会館 | 最寄駅 | 富山駅 | |
| | 所在地 | 富山県新富山市総曲輪4番18号 | 最寄駅からの交通手段 | 徒歩 | |

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|---|
| アドバイザー | 高村 弘史 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に） | 研修後に行ったアンケート結果において講義内容について96.4%の参加者が「大変関心があった」「関心があった」と回答し、97.6%の参加者が「大変参考になった」「参考になった」と回答した。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 講義の量や時間のため仕方がないことですが、資料が多く、早口で、理解が追いつかなかった。との意見がありました。 |

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | | |
|----------------|-------------------------|-------|-----------|
| 4-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | 合計人数 | 106人 |
| | 属性 | 企業・団体 | その他(学生など) |
| | 自治体職員 | | |
| | 住民 | | |
| | 人数 | 106 | |

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

| | |
|------------------------|--|
| 事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） | 個人番号利用事務等を実施する所属に設置する保護責任者や個人番号利用事務等を担当する事務取扱担当者等に対して、特定個人情報等の適正な取扱いについて理解を深め、その保護に関する意識の高揚を図るための啓発を実施する必要がある。また、個人番号利用事務の事務取扱担当者等については、事務取扱要領を見直すための考え方や留意点等、その手法を学ぶ必要がある。しかし日々利用範囲が広がるマイナンバー制度について、県の担当者だけによる研修や説明では限界がある。 |
| 支援により目指す成果（具体的にご記入下さい） | 利用範囲が広がっているマイナンバー制度について、担当者が個人番号の適正な取り扱いができ、かつ事務取扱要領を見直せる知識を持つことで県民の皆様の行政手続きの利便性向上につながる。 |

| | | |
|---|---|--|
| アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい) | 安全管理措置に関する講義(事務担当者向け) ・特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドラインの理解 ・個人情報保護制度の見直し・マイナンバー制度の概要・4つ+1の安全管理措置 ・情報セキュリティ対策 安全管理措置実施・見直しのための業務フロー研修 ・業務フローの作成及びグループディスカッション | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | 各々が安全仮措置について理解を深め、業務フロー研修により事務取扱要領を見直すための考え方や留意点等を体験できた | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 今回の研修で学んだことを各所属、各自治体に戻ってから実務に反映させていく |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 特にありません | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修後に取ったアンケート結果において講義内容について96.4%の参加者が「大変関心があった」「関心があった」と回答し、97.6%の参加者が「大変参考になった」「参考になった」と回答した。 | |
| 4-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ⑤その他 個人番号利用事務等については制度が更新され日々利用範囲が拡大しているため、理解を深める必要があり定期的に研修を行いたいと思う |
| 4-4. 事業の最終的な目指す姿 | 特定個人情報等の適正な取扱いについて理解を深め、また事務取扱要領を見直すための考え方や留意点等、その手法を理解する。 | |

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

